

## 令和３年度 大径木チップ化処理委託業務

### 特記仕様書

#### 第１条（適用範囲）

本特記仕様書(以下「特記仕様書」という)は、令和３年度 大径木チップ化処理委託業務（以下「本業務」という。）の遂行に必要な事項を定める。なお、特記仕様書中、当財団を「甲」といい、甲から委託を受けて本業務を履行する者を「乙」という。

#### 第２条（目的）

本業務は、海洋博公園の植物維持管理において発生した剪定枝等を、園内でマルチング材として還元・活用することを目的に、樹木(大径木)等のチップ化を行うものである。

#### 第３条（準拠）

本業務は、特記仕様書に基づく他、関係法令によるものとする。

#### 第４条（業務内容）

- (1) 業務期間は、契約締結の翌日から令和４年３月３１日までとする。
- (2) 施工場所は、別紙地図の通り。
- (3) 施工方法

乙は特記仕様書に従い、甲より委託される樹木等のチップ化を以下の方法で適正に行うこととする。

- 1) 施工場所に堆積された剪定枝等を、自走式木材破砕機に投入してチップ化を行う。
- 2) 使用する自走式木材破砕機については、処理量が１時間１４ｔ以上のものとする。
- 3) バックホウにて木材の投入を行う。燃料は持ち込みとする。
- 4) 処理したチップ材は、同地内に集積を行うこと。
- 5) チップ材の木目の大きさは３ｃｍ程度とし、施工前にサンプルを提出すること。
- 6) 機械のトラブルや故障の場合の修理・メンテナンスに係る時間は、稼働時間に含まれない。

- (4) 処理物の樹種

樹種はモクマオウ、アカギ他。

#### 第5条（官公署及びその他の手続き）

本業務の遂行上、必要な官公署及びその他への手続きは、監督職員と協議し遅滞なく行うこと。

#### 第6条（安全管理）

受託者は安全管理に留意し、その保全に努めること。なお、万が一、事故が発生した場合には速やかに委託者に報告するとともに関係機関に連絡し、応急処理を行うものとする。

#### 第7条（支払方法）

支払については、完了払いとする。業務完了後乙にて甲に通知し、検査職員による検査にて完了が認められたのち、適正な請求書類の提出をもって請求するものとする。

#### 第8条（その他）

特記仕様書に定めのない事項及び定めている事項について疑義が生じた場合は、甲乙協議するものとし、軽微な事項については甲の指示に従い誠意をもって本業務の遂行にあたるものとする。